

# 市長と障害者雇用を語る

## 東広島で「おしゃべりカフェ」

東広島市の高垣広徳市長が市民と座談会形式で意見を交わす「おしゃべりカフェ」が市役所であった。「地域共生社会の実現」をテーマに障害者雇用の現状や課題について、黒瀬特別支援学校の教職員や生徒、就労支援事業所の管理者たち9人が語り合った。

同校の進路指導担当者は「生徒が活躍する機会をつくりたいが、受け入れ先や資金などの課題に直面しながら頑張っている」と現状を説明。市内

の会社で働く参加者は「一般企業で就職活動をしても断られることも多かった」と明かした。

高垣市長は「障害のある方の多様な個性をいかに仕事に結び付けていくかだと思ふ。行政としてどのような支援ができるかを一緒に考えていきたい」と話した。

西条町で就労継続支援B型事業所の農園を運営するプローバベジモ（広島市安佐南区）の村上正社長（44）は「利用者を次のステップに送り出す時の受け皿が足りないといった課題について、市長に直接伝える機会になり良かった」と話した。

おしゃべりカフェは、市の施策に当事者の声を反映させるため、市が2020年から開いている。

（石井雄一）

2024年8月23日付

中国新聞朝刊22面へ掲載

※転載については中国新聞社の許諾を得ています